

ヴェールルージュ美容専門学校

自己評価結果報告書

平成 30 年 3 月 23 日実施

- | | | |
|----|---|-------------|
| 評価 | 5 | 完全にできている |
| | 4 | おおむねできている |
| | 3 | 普通 |
| | 2 | できていない部分がある |
| | 1 | 改善が必要 |

1. 教育理念・目的・育成人材像

	点検・評価項目	自己評価	自己評価結果	改善策
①	教育目的、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	5	建学の理念である即戦力育成を実現するため、常に時代や業界のニーズに呼応したカリキュラムを企業と協同し改編している。常に美容業界のトレンドを見通し、適宜新たな授業を取り入れることで、最先端の技術習得を目指している。	
②	学校における職業教育の特色は何か	5	現役プロ講師による時代や職業現場に即した実践的なカリキュラムや授業のほか、実践力や人間力を育むための体験型実習や行事を数多く取り入れていること。	適宜、現場体験実習の内容や参画する行事を見直し、改善を図りつつ、質の向上を図る。
③	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	教育理念や方針は、学生便覧に明記。表記の語句の解釈の難しさもあるので生徒には入学後に直接説明し指導。保護者には入学前に書面にてご案内し、周知徹底している。	

2. 学校運営

①	目標に沿った事業計画が策定されているか	4	期末の運営会議において計画の見直しを実施し、次期計画策定に向け改善策を検討している。	適宜 幹部運営会議を実施し計画進捗状況の確認や改善策を検討している。
②	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	組織体制に基づき、学校体制が明確にされており、意思決定においても速やかに行われている。今後もより迅速な意思決定による学校運営を継続させる。	
③	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5	数年前から事業計画の一環として IT 化を推進中。ウェブメールやクラウド活用により情報共有化、業務の効率化において一定の成果を上げている。平成 27 年度からは学生へメールアドレスの配布を開始し活用することで業務の効率化を図っている。その	卒業生の転職連絡や同窓会組織への発展を検討中。

			他、求人票をシステム化しペーパーレス化も継続実施中。	
--	--	--	----------------------------	--

3. 教育活動

①	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5	厚生労働省指定規則に則って編成しており、規則通り確実に遂行できている。	
②	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	5	行われている。(当校の教育方針である実践教育を実施するためには、時代や業界のニーズをカリキュラムに反映させることが必須条件であると認識している。)美容師対応力強化のため、マスターコースのみで実施していたサロン実習授業を、カットコース・カラーコースにも導入した。	関係者様からご指摘のカリキュラムバランスにおいては次年度も配慮し、最終見直しや調整を実施する予定。
③	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	行われている。以前より美容サロン向けに特化された接客・マナー講習を導入し、企業からの提言や助言を積極的に受け入れカリキュラムに反映中である。アイラッシュ分野のニーズ増加に伴い、1年次カリキュラムに導入をした。	アイラッシュの授業を増やしてほしいという意見が出ているので、検討をしていく。
④	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	基準は明確であり、学則に記載されている。	
⑤	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	厚生労働省の指定規則を満たす教育内容であるとともに、国家資格取得については学生一人ひとりへの個別指導や国家試験対策講座や合宿を開講した。	合格率の更なる向上を図るため対策講義、放課後補講、勉強合宿を実施予定。
⑥	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	厚生労働省指定の専任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。また、教員に必要な専門性、人間性も備えている。指導力の面でも、個々のスキルアップが必要であるため、大専各や各関係者や団体研修の受講を推奨し、組織としても機会を付与している。	単なる研修参加に留まらず、学校代表の立場として修得した技術や情報の共有を図る。また担当者が参加記録を正確に取り、共有の際の全教員のレベルUPにつなげるよう指導する。

4. 教育成果

①	退学率の低減が図られているか	3	出席状況や受講態度などに問題があった場合、各教員から学科長へ報告の上、必要に応じて個別面談を行い速やかに対処している。長期欠席等の問題のある学生は、保護者や臨床心理士とも連携しながら指導に当たり学業への復帰を促しているが、事前相談なく退学の意味を固める学生もおり、特に平成 29 年度は例年に比べ多かったため、相談・解決しやすい環境作りには課題が残る。	専任窓口設置の他、昨年度から退学防止委員会の組織化を継続。相談・解決しやすい環境作りや短期スパンで目標設定させ学生に意欲の向上につなげる。
②	就職率の向上が図られているか	5	担任教員、キャリアセンター、学校後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催し就職活動を全面バックアップ。ミスマッチを防ぐため、個人面談を丁寧に行い個性や希望条件に合った就職先のアドバイスをしている。就職率の向上を目指し月別内定目標を設定し、月ごとの結果を取りまとめ、教職員内で共有化している。	・サロン様に学校案内の設置をお願いする際に郵送せず、直接訪問することでニーズの把握や情報収集が正確にできるため、次年度も実施する。 ・各担任とキャリアセンター担当者との連携や情報共有を密にして離職率の低減を目指す。
③	資格取得率の向上が図られているか	4	全学生の美容師国家試験合格を目指し、学生一人ひとりへの個別指導や国家試験対策講座を開講している。結果として、開校以 14 年間、国家試験合格率 90%以上を維持している。平成 28 年度以降より勉強合宿を実施しており、一定の学業向上成果が見られたため、継続実施している。国家試験以外の資格取得については、就職説明会で資格取得の重要性を話し取得率向上を促している。一部、対策授業を開催して合格率の向上にも努めている。	今年度は美容師国家試験筆記試験対策として科目別要点集を作成し基礎知識の底上げを図る改善を行った。

5. 学生支援

①	社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	5	大学・短大の既卒者に向けた学費支援制度を設けている。	次年度 支援制度の継続延長を予定している。
②	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5	担任教員、キャリアセンター、後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催しながら就職活動を全面的にバックアップしている。ミスマッチを防ぐため、個人面談の機会を頻繁に実施している。また卒業生等からの情報を有効活用し、	引き続き、卒業生や内定者からの情報収集に努める。

			内定率向上に注力した。	
③	学生相談に関する体制は整備されているか	3	校内にカウンセリングルームを設置し、カウンセラー（臨床心理士）1名が定期的に来校し、学生相談に対応している。また、身体に関する悩みや緊急を要する怪我などについては、学校長（医師）が対応している。カウンセラーによる学生相談ができる日程が限られており、希望者全員への対応が困難なため、改善が必要である。	姉妹校の非常勤講師に資格をお持ちの方がいるので、対応が可能かを確認する。
④	学生の経済的側面に対する支援制度は整備されているか	4	日本学生支援機構、日本政策金融公庫などの公的制度の他、学校独自の奨学制度を設けている。奨学金を活用した学費の分割払い制度や特待生制度等を用意している。学内の学費相談デスクに学費アドバイザーを常駐し、学費・奨学金に関する相談体制を整えている。	・現在国政においても教育支援が課題となっている中、本校においても経済支援が必要な進学希望者（世帯）への学費支援制度対象者数の拡大を検討している。

6. 教育環境

①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。メンテナンス体制も整備しており、一部老朽化が進んでいる箇所については、随時補修している。	
②	学校外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5	学外実習については、毎年11～12月に希望者に対し海外研修を実施し、世界レベルのトップアーティストから学べるニューヨーク、ロンドン等での学校独自企画のプログラムを用意している。ロンドン提携サロンにて実地修練を行う校費留は受け入れ先のサロン数を増やし内容の充実を図った。またより多くの学生に経験機会を提供できるよう、対象者の増員をおこなった。	
③	防災に対する整備はされているか	3	防火管理規程、校舎管理規程を定めて体制を示し、防火訓練等を実施している。災害時の対処方法を具体的に指導して、十分に伝えるような検討が必要である。	教職員向けに AED の使用方法を学ぶ機会を設ける。

7. 学生募集と受け入れ

①	学生募集活動は適正に行われているか	5	教育機関として節度ある学生募集活動を行っている。特に A0 入試は保護者または高校教員の承諾を必要とし、安易な合格内定による囲い込みは一切行っていない。オープンキャンパスでは対応職員を増やし、志望者の要望に合わせて個別対応を行い、正確な進路の指針を示すよう努めている。平成 27 年度から遠方にお住まいの方を対象に現地入試を継続実施。受験者の負担軽減に努めている。その他、高校側のスケジュールに合わせ必要書類を依頼し安心を得ている。	少子化に伴い、学生募集が激化する中、保護者や高校進路側の目線に立ち大阪府規定の専門学校入試基準を順守している。加えて個々の応募者に無理なく入試対応するよう次年度も実施する。
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	国家試験合格率や求人倍率・就職内定率等のデータについては、最新の数字を学校案内パンフレットやホームページ等に公表している。卒業生の現場での就業状況等についても、事実を正確に伝えている。	昨年同様、誰もが判断しやすいよう相手先には数値で示すことを意識して指導する。
③	学納金は妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当な金額となっている。入学後に必要な教材費等の追加費用についても、別途冊子を作成し、正確な金額を明示している。	教材費については一部の材料の高騰化が進んでいるため、学生負担が増えないよう次年度以降も意識をする。

8. 財務

①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当と判断している。	税理士からの進言を受け入れながら、今後も適正に年間計画を策定していく。
②	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	入学生定員確保に至り、財務基盤は安定する見込み	今後も中長期経営計画に基づき、財務基盤安定を図りつつ、施設設備の充実も図っていく。
③	財務について会計監査が適正に行われているか	5	適正に実施している。	

9. 法令等の遵守

①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか	5	法令、設置基準等に関してはそれらを遵守したうえで、適正な運営がなされている。	朝礼時や定例会議においても 法令遵守の重要性を呼び掛けていく
---	-------------------------------	---	--	--------------------------------

②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	資料請求者、受験者、学生や卒業生および教職員等、学校が保有する個人情報に関し、管理システムのパスワードは定期的に変更している。また個人情報保護委員会を設置し、保護のための対策がとられている。	
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	教職員会議、学年会議、営業会議等を通じて常に自己点検を行い、問題・課題を早期に発見し、随時協議を行い対処している。平成25年からは、学校関係者委員会を平成26年度から教育課程編成委員会を設置し外部関係者の意見も積極的に反映するよう努めている。	中期的展望としては、より多くの方からご意見を求められるように学校関係者評価に留まらず、第三者評価委員の選定まで進めていく方針。

1 0. 社会貢献

①	学校の教育資源を活用した社会貢献を行っているか	5	開校当初より社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。チャリティや業界団体をはじめ、海外美容学校の研修受入れなど分野枠を超えた活動を実施している。チャリティ参加及び韓国美容学生の研修受入れは定例化しており、平成29年度も実施した。	
②	生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	5	生徒の社会貢献に対する意識向上のため、高齢者への美容サービス、児童養護施設のイベント協賛など授業や学校行事にも取り入れている。生徒が自ら行う活動についても日常的に奨励・支援している。また学校周辺地区の活性化として 地域商店街の通行客に向けたイベントにてメイクサービス等を実施。こちらも定例化されてきた。	継続して福祉児童施設や団体への美容技術の提供を行う。

1 1. 国際交流

①	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	5	教職員が生活・コミュニケーションや在留手続きの管理までサポートしている。また、日本人学生数名が個別に勉強や生活をサポートする体制を整備している。	次年度も引き続き同様サポートする見込み。
②	受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等が取られているか	5	取次申請者が留学生の状況を個別に確認し、必要に応じ手続きを代行している。	次年度も同様の管理を行う。

③	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	5	開校よりグローバル人材の育成を行ってきた結果として現在複数の卒業生がロンドン、ニューヨークなど世界の主要都市で美容師やヘアメイクアーティストとして活躍している。海外研修の際にイギリスで活躍中の卒業生との懇親会を開催し、将来海外で活躍することを目標としている学生へ情報提供を行っている。	次年度も世界に目を向ける学生の教育指導を続けたい。
---	----------------------------------	---	--	---------------------------